



令和6年度／10月発行／富山市立東部中学校

「日常生活と学習の関わり」

教頭 佐藤 寛之

みなさん、スタジオジブリの作品で一番のお気に入りは何でしょうか。私のお気に入りには『天空の城ラピュタ』です。1 か月ほど前に金曜ロードショーで放映されましたが、何回観ても飽きないよさがあるように思います。

さて、私はこの作品のある台詞から、主人公のシータには日常生活で得た知識が生きて働いていることを感じます。その台詞とは、飛行石の光が差した方向が真東である根拠を問われたときの回答です。その台詞とは

「私のいた塔から、日の出が見えました。今は、最後の草刈りの季節だから……日の出は、真東より、ちょっと南へ動いています。光は、日の出た丘の左端を指したから……」

私が中学生の頃に天空の城ラピュタを観たときには、なんとなく通り過ぎていったこの台詞ですが、大人になってから改めて観たとき、この台詞のすごさに衝撃を受けました。現在の中学校では太陽の年周運動は中学校 3 年生の理科で学習します。その内容は、春分や秋分の日には太陽は真東からのぼって真西に沈むこと、夏至の日には 1 年間で太陽が最も北寄りからのぼること、冬至の日には 1 年間で太陽が最も南寄りからのぼることなどです。『天空の城ラピュタ』の台詞から察するに、シータは日常生活の中で季節による日の出や日の入りの位置を正確に把握しており、その知識を生かして光が差した方向を客観的に説明しているのです。

学校の授業で学習する内容は、以後の人生で遭遇する様々な課題を解決するために必要なものです。しかし、一度学習しただけで「日常生活の中で生きて働く知識」とするのは難しいことです。日常生活の中には、学習したことが実際に起こっていたり、利用されていたりする場面がたくさんあります。生徒の皆さんには、日頃から日常生活の中でおこる現象や身の回りの自然をよく観察し、授業で学習した内容と結びつけて考える習慣を身に付けてほしいと思います。ちなみに、今の時期はシータの台詞と同じ季節だと思われます。本当に日の出は真東より南へ動いているのでしょうか。少し早起きして確かめてみるのもよいかもかもしれませんね。

第 78 回体育大会



9月26日、秋らしい晴天に恵まれたなかで、第78回体育大会を開催しました。

今年度のスローガン「万里一空 ～最高にアツイ体育大会を～」の下、どの団も一致団結し、体育大会を盛り上げました。



みんなでジャンプ



タイヤ引き



騎馬戦



綱引き

<10月～11月の主な行事>

<10月>

- 2日(水) 生徒会選挙
- 5日(土) 県中学駅伝
- 6日(日) 県中文祭
- 9日(水) 中教研県東部大会のため午後放課
給食なし
- 11日(金) 市新人大会(～13日)
- 21日(月) 中間考査(～22日)
- 26日(土) 市中文祭
- 31日(木) 合唱リハーサル

<11月>

- 2日(土) 文化活動発表会
- 4日(月) 振替休日
- 5日(火) 振替休業日
- 6日(水) 中教研学力調査(～7日)
- 8日(金) 1・2年校外学習
- 18日(月) 3年進路相談会(～20日)
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 25日(月) 期末考査(～27日)